

グループ全職員のみなさまへ

921台湾大震災に対する 災害医療協力報告 (10/12)

本日10月12日朝の時点での台湾で活動中のTDMAT（徳洲会災害医療協力隊）メンバーの活動の報告と今日の予定をいたします。

TDMAT（徳洲会災害医療協力隊）の行動

10月11日の活動

東勢国民小学校避難所診療班

診療者数 70名

ドッチボールが頭に当たった小学生が
2時間後嘔気を訴えたため救急車で台中へ搬送

旧814陸軍病院跡地診療班

診療者数 25名 (内科16 外科9) (呼吸器9 消化器3慢性1その他3)

appe疑いがあり経過観察中

レセプション参加のため15時で診察切り上げ

814診療所の担当はこの日で撤退です

お知らせ事項

【政府衛生局とへの報告】

小芝、清水、徐、村井の4名が11日朝東勢をたち、台北市内の政府衛生局長（厚生大臣）に今回の活動の最終報告と撤退について報告を行いました。李登輝總統からも感謝の意が伝えられました。

【長庚病院主催レセプション】

10月11日に長庚記念病院院長とその経営母体である台湾プラスチックの王会長主催の徳洲会とTDMATメンバーに対する感謝会の催しが開催されました。

診察業務を早めに切り上げ、バスで林口に18時に着いたメンバーは長庚記念病院から車で15分ほどの所にある王会長所有のゴルフ場にあるレセプションセンターに移動し、王会長、長庚記念病院の院長、副院長、外科、内科部長に囲まれ顔が引きつっていたそうです(^O^)。しかし、最後は英語を交えた和やかな会話の中で、病院側から感謝の意が伝えられ、後日政府からも正式に感謝状が届けられるそうです。

メンバーは帰国組を除いて本日朝6時に再び東勢に向かいました。

すでに帰国されたTDMATメンバーには申し訳ありませんでしたが、今回の活動終了後、解散式と総括そして慰労会を開催しますので、報告書を早急に本部に郵送かE-mailで送って下さい。

【今後の予定】

10月12日より東勢国民小学校診療所のみ担当となります

15日の診療を最終に東勢を撤退し、その日のうちに林口長庚病院に戻り、16日病院見学の後、12:00台北発15:55羽田着中華航空100便で帰国します。

【帰国メンバー予定】

徐、清水、小芝、村井、近藤、財の各メンバーは本日12:00台北発15:55羽田着中華航空100便に乗りました。本日中に自宅に戻れます。

10/14の帰国予定者は松元、栗岡、張の3名で、台北12:00発15:55羽田着中華航空便の予定です。張薬剤師は台北発16:50沖縄着19:05で直接沖縄に帰ります。

10月12日の各班の行動予定

第A班 東勢国民小学校避難所派遣

栗岡 宏彰	医師	宇治	
松元 陽一	医師(小児科)	岸和田	
Jenny Lai	医師(小児科)	USA	
野沢 敏昭	看護師	鎌倉	
根笹 智江	看護婦	札幌東	
浦里 博史	看護師	神戸	
張 羣	薬剤師	中部	
倉田 真紀子	看護婦	札幌東	
山崎 宏和	看護師	大和	
財 紀代	看護婦	鹿児島	10名

第B班 診療所巡回

竹内 克彦	医師(内科)	大和	
阿部 好弘	医師	鹿児島	2名

第C班 東勢国民中学校ベースキャンプ

橋爪 慶人	医師	岸和田
渡辺 英樹	ME	鎌倉

第E班 長庚記念医院

劉 孟娟	医師	名瀬
田原 代志枝	看護婦	千葉西(コーディネート業務)

帰国

徐 嘉英	医師	羽生
清水 徹郎	医師	札幌
小芝 章剛	医師	札幌東
村井 政史	医師	鎌倉
近藤 芳憲	看護師	鎌倉
張 羣	薬剤師	中部

東勢被災地便り：

本日よりTDMATメンバーの診療拠点は1カ所となりました。撤退の時期も決まり、少し張りつめていた気持ちが緩むときです。こういうときに事故が起こる事が多いですし、メンバーの体調にも気を使わねばなりません。あと少し気を引き締めていきたいと思います。被災者のPTSDのケアに対しても長庚病院が全面的に乗り出しており、至らなかった点も多々あったかと思いますが当初想定していたTDMATの任務はほぼ終了したと感じています。

今回は阪神やサハリンでのTDMATの活動の反省点を参考にかなり前に進んだ活動が出来たかと思いますが、まだまだ改善しなければならない部分もいろいろでてきました。それは今後の課題です。でも、少なくともこの活動で知り合ったグループ内の繋がりは一つの財産です。

事務局便り：

橋爪先生が事務局をでて現地で最後の引き上げまで頑張っています。事務局では東京に富岡(鎌倉)、宇治に中村燈喜、鹿児島に内山と散らばりながらも、インターネットと通信で密に連絡を取り合いながら現地をサポートしています。

ところで、事務局当初からのメンバーで、初期に台湾にでていた内田救命救急士(鹿児島)に11日ご子息が誕生しました。心からお祝いの言葉を捧げたいと思います。名前はまだ考えてないようですが、冗談でも台湾をもじった名前は付けないで下さいね<m()m>。